
初めての恋 = 初恋

姫路

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

初めての恋Ⅱ初恋

【コード】

N8637H

【作者名】

姫路

【あらすじ】

三浦は、運動神経がいい男子だ。私は、そんな三浦が好きだ！

私は、三浦みつらのことが大好き。

三浦は、幼稚園からの幼なじみで、運動神経がとて面白い、特にサッカーが上手い。

勉強は、私より、下。だいぶ下。

ある日、有梨なつめ奈が 「ミー、三浦のこと好きでしょ?」

ミーは、私だ。

私は、すぐに顔が赤くなった。耳までも・・・

私は、「そ、そ、そんなことないじゃん!」と有梨奈に言った。

有梨奈は、ニタツと笑い、私と三浦を何度も見た。

そのあと、有梨奈も赤くなり、言った。

「お似合いじゃん」と

私は、ゆでだこのように赤くなった。

その時、三浦が学校で一番可愛い子に呼び出された。

私は、ドキツとした。

気になった、私と有梨奈は、あとをつけていった。

気づかれないように、隠れて聞いてみた。

そしたら、告白をしていた！

私の心臓は、バクバクが止まらない。

私の心に悪魔が走った。

断れ！断れ！断れ！この言葉が頭から、離れない。

三浦は、断った。

私は、ホツとして、バクバクがだんだんおさまってきた。

次の日私は、告白をした。

もちろん三浦だ。

三浦からの答えは、

「はあ〜」

なんでため息をした？こっちは、本気なのに！

「俺も好きだ！」

心の中でガッツポーズをした。

三浦を見た。

私と三浦は、何度も顔を見ては、赤くした。

手をつなぎ学校に行った。

もちろん恋人つなぎだ。

黒板には、三浦ハート ミーと書いてあったが、気にしなかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8637h/>

初めての恋 = 初恋

2010年10月21日07時11分発行